

2024年10月8日（火）

老球の細道832号

2024年度会津バスケットボール協会「トップアスリート講習会」スタート

会津バスケットボール協会 室井 富仁

2019年度から新型コロナで中止していた会津バスケットボール協会主催の「トップアスリート講習会」がスタートした。会津地区の小学5年生から中学3年生を対象にしてバスケットボールのファンダメンタルを年内6回にわたって実施する。すでに第1回が9月23日（月）北会津中学校、第2回が9月29日（日）若松商業高校で行われた。過去最高の140名の受講申し込みがあり、毎回120名位の参加者が集まった。指導者も上は前会津協会会長の松井先生から今年高校を卒業したばかりの松本君（トップアスリート卒業）まで老若男女20名以上が参加してくれている。特にミニバスコーチが多い。

最近の会津地区の低迷とミニから高校までの関係の弱さなどの指摘を受け、技術委員長の若松商業星先生と会津クラブ監督渡部大介氏の尽力によってようやく実現することができた。日本協会、福島県協会などの機構改革によって各カテゴリーの行事が錯綜する中、日程設定が困難を極めたが、まずはやってみようということでスタートした。

そもそもこの「トップアスリート」の行事は2003年に私が坂下高校（現在は大沼高校と合併して会津西陵高校と校名変更）に赴任した時から始めたイベントである。当時赴任してからすぐに部員が1名しかいなくなったので、大会にも出場できないことから地元の中学生を集めて指導をし、願わくばその中学生が坂下高校に来てくれて活動が再開できればという思いで始めた。当時の坂下地区は鈴木新氏、二瓶誠二氏が今と同じように坂下ミニバスの指導に燃えていて私の趣旨に賛同してくれた。また坂下厚生病院長として赴任して来た松井遵一郎先生も多忙にもかかわらず指導に参加してくれた。その他に星先生、佐藤公希氏（当時会津クラブコーチ）、芳賀聡前審判長など錚々たるメンバーが参集したのである。

最初は坂下地区の中学生でささやかに実施する予定であったが、若松、喜多方、猪苗代などから優秀な小学、中学生がたくさん参加してくれるようになった。その中に今年からボンズのコーチになった上杉翔君も若松二中から参加していた。松井先生のつながりで福島県立医大のバスケット部員も参加して、小、中学生と共に全く手を抜かない姿勢に驚嘆した。

坂下高校で6年間実施した後転勤になりこの行事もストップした。その後退職する年どこからともなく今度は会津協会主催で「トップアスリート講習会」をやろうという声が出て来て「エピソード2」が2013年にスタートし、コロナの流行する2019年まで続き、そして再々度今年度から「エピソード3」となる。

おだてられるとすぐに木に登る私は、再びメインコーチとして楽しませていただいている。このイベントをきっかけに選手はもちろん若いコーチ達も成長し、未来の会津地区における「地産地消」での強化普及の原動力になってほしい。指導者は情熱がすべてである。今回、福島や相馬からもミニ、中学の指導者が参加している（会津地区出身）。本来なら山に芝刈りに行っている年齢であるが体育館へ行く。まず燃えよ、燃えない焚火を誰が囲もうか。